土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 主要地方道　西城比和線　測量設計業務委託（道路改良・単独）

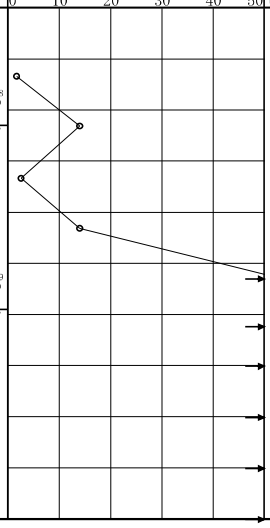
事業名 または 工事名 主要地方道　西城比和線（道路改良・単独）

調査目的及び調査対象 道路 構造物基礎

ボーリング名	R4-B-5	**調査位置**	広島県庄原市西城町大屋黒谷上	**北緯**	34° 58′ 24.54″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所	**調査期間**	2022年 12月 22日 ～ 2023年 2月 10日	**東経**	133° 03′ 21.57″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**	**コア鑑定者** / **ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 660.38m	**角度**	180° 上 90° 下 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	10.00m	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	試錐機：YBM-1-WA / エンジン：TF120M / ポンプ：GP-5

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地層名	記事	孔内水位／測定月日
1	658.53	1.85		有機質土		暗黒灰		rc2		Φ50mm程度までの礫や草根を混じる粘性土を主体とする礫混じり土砂。 全体に軟質。 黒ボク	
2 3 4	656.38	4.00		砂礫		黄灰	非常に緩い～ゆるい			Φ150mm程度までの礫を混じる中～粗粒砂を主体とする。 扁平な礫はほぼ水平に並ぶ。 全体に軟質。 全体に粘土分を含み緩い。 3.70～4.00mは粘土を主体とし、砂が混入する。 3.80m以深はやや砂分優位。 屋錐(古墳)	02/08 2.30
5 6	654.07	6.31		風化安山岩		淡黄灰～暗灰				傾斜75°の断層で、破砕部はφ1～25mmの角礫と粘土混じり粗砂状とから構成される。 傾斜40°～85°の灰白色脈(幅1～8mm)が網状に発達する。 破砕部は固結している。	02/09 5.90
7 8 9	650.38	10.00		安山岩		暗青灰				クラックに富み、それらの傾斜は10～70°と多様である。 所々に亀裂を残すが棒状～片状コアを呈し硬質。 クラックの褐色酸化は孔底まで認められる。 φ1～5cmの暗灰色岩片を各所に含み。岩片が扁平なものは、ほぼ水平～40°傾斜の構造を示す。 本岩は溶結凝灰岩の可能性もある。	

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
2	1.15	1/200	1/150		2/350		
	1.50						
14	2.15	4	5	5	14/300		
	2.45						
3	3.15	1/150	1	1	3/350		
	3.50						
14	4.15	3	4	7	14/300		
	4.45						
54	5.15	9	19	22/80	50/280	280	
	5.43						
94	6.15	22	28/60		50/160	160	
	6.31						
	7.00	貫入不能			50/0		
	7.00						
	8.00	貫入不能			50/0		
	8.00						
	9.00	貫入不能			50/0		
	9.00						
	10.00	貫入不能			50/0		
	10.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験 室内試験	削孔月日
				2/7
				2/8
				2/9